

令和5年度 事業計画書

社会福祉法人 川福会

目 次

I. 令和5年度事業計画

法 人	1
-----	---

II. 令和5年度事業計画（各拠点）

特別養護老人ホーム福寿苑	5
特別養護老人ホームみのわの里	11
特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵	20
介護老人保健施設 枚岡の里	28
介護老人保健施設 長田の里	32
ケアハウスひらおか	39
ケアハウス喜里川	42
小規模多機能ホームごりょうの家	47
介護老人保健施設 すいれん	51

III. 法人専門会議事業計画

	57
--	----

I. 令和5年度事業計画（法人）

1. ガバナンスのさらなる強化

(1) ガバナンス強化に向けた対応検討

法人は、評議員会や会計監査人からの牽制機能や指摘事項を基に、利用者・職員・地域社会等の立場を踏まえたうえで、透明・公正かつ迅速な意思決定を行います。

また、社会福祉事業に係る福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たしていくために、職員の倫理規範の向上、コンプライアンスの徹底・リスクマネジメント・内部監査結果の改善等に注力してまいります。

(2) 内部監査の実施、是正、ありかたの再検討

コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化、法人運営の透明性の確保、業務の適正な遂行を図ることを目的とし、法人の機関として独立した内部監査室による、内部監査にて、事業監査及び介護報酬等監査を行います。

内部監査の知見により、事業の各部門の状況について、労務管理の状況把握や、人員体制、記録整備等の指導と各情報を法人が一元的に把握し、人員欠如や過誤請求等の無い事業運営を指導することで、各事業のより一層の適正運営に注力します。

(3) 会計監査人指摘事項の対応

法人のガバナンスを確保するために、内部管理体制の整備と運用を図ると共に、支払資金の収支の状況、経営成績及び財政状態を把握・公表するために適切な会計処理と適正な計算書類等の作成を行うことが必要であり、独立した立場である会計監査人による監査を受け、継続的に法人の管理体制を見直していきます。

令和5年度も、指摘事項に真摯に対応してまいります。

2. 経営基盤の安定

(1) 全国平均の稼働率・単価を実現

全国平均の稼働率・単価に届いていない事業については、その課題抽出を実施し、稼働率・単価向上のため、新たな加算取得や事業所が魅力あるサービスを提供できるよう新たな取り組みを積極的に打ち出してまいります。

(2) 既存併設事業の今後のありかたの検討

福寿苑・みのわの里・布市福寿苑・ケアフル布施のすべての訪問介護事業所をみのわの里ヘルパーステーションに統合します。

パート職員から登録型ヘルパーへの転換、障がい者訪問介護事業のサービス提供責任者の増員などバランスの良い配置により、サービス提供体制を充実させ、サービスの向

上と経営改善を図ります。

(3) 令和3年度・令和4年度課題への対応

令和3年度から経営方針を転換し、経営改善に取り組んだ結果、損益が改善されましたが、事業費・事務費については、物価高騰の煽りを受け、厳しい状況となる事が予測されます。

令和5年度も引き続き、事業費、事務費支出の実態把握を行い、商品統一、契約変更、運用方法の見直し、職員意識の改革等に注力してまいります。

また、経費削減による改善額は、人件費に転換していきます。

3. 地域共生社会の実現に向けて

(1) 法人としての機能的相談窓口の設置の検討

地域共生社会の実現のためには、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築が必要であり、身近な社会資源として施設や事業所はその役割が期待されています。

総合相談窓口である地域包括支援センターの受託拠点以外の施設においても窓口を設置するとともに、その広報、ニーズ把握の手法等について検討してまいります。

(2) 実施している地域公益活動の再検討

コロナ禍による地域との係わり方に変化がある中で行える地域公益活動については取り組んでまいりましたが、今後も安全で且つ効果的な地域公益活動が行えるよう、その実施方法の見直しや、改善点などを検討し、新たな活動を検討してまいります。

4. 職員の働き方改革と育成

(1) 適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正

管理職については適正労務管理体制の運用理解のみならず、労働法務についてもさらに理解を深める必要があるため、今後も継続して勉強会を行います。

また、法人として管理職が適正な労務管理が行えているか内部監査等において適宜確認し、是正が必要な事項があれば法人で共有することで、さらなる適正労務管理に注力します。

(2) さらなる業務改善の実施、見える化、効果測定

利用者処遇の維持・向上を図りながら職員の業務効率化、標準化を推進し、職員の業務負担の軽減に注力します。

また、これまで実施してきた業務改善については、一覧表を作成し、法人内で共有できるように見える化をはかり、その効果測定を実施します。

(3) 令和3年度・令和4年度課題への対応

職員の職務内容の標準化と事業所間格差の解消、19ある勤務形態の整理について精査します。

また、40歳以上の職員が法人職員の3分の2を占める状況があり、職員の高齢化が進む中、新卒・中途採用職員の採用から教育までのフローを検討します。

また、役職員が常に「人権」を尊重する意識を持ち、確固たる倫理観をもって、専門的役割を自覚し、自らその責務を果たすための規範として制定した職員倫理綱領・職員倫理規程・虐待防止指針及び法人が経営する事業所において、ハラスメント行為を断じて許さず、すべての役職員が互いに尊重し合える、安全でハラスメントのない快適な職場環境を実現するために制定したハラスメント防止方針・ハラスメント防止規程・カスタマーハラスメントに対する行動指針を職員に周知し、研修開催等を通じて、職員の理解を深め、組織風土を改善し、人権尊重、虐待やハラスメント防止の徹底に努めます。

5. BPR計画の推進

(1) B0システム運用の完遂

平成28年度からBlue Oceanシステム（介護記録システム）を導入し、介護記録の電子化をすすめる業務改善と情報共有のツールとして活用を推進してきました。

施設によりこのシステムの運用に差がありますので、介護記録については、システム運用へ完全移行させ業務の効率化をはかります。

(2) IT管理・情報セキュリティーの再検討・改善

令和4年度から、各事業の書類について、紙媒体から電子データへ移行するとともに、その業務の標準化を推進してまいりましたが、令和5年度もその推進に引き続き注力するとともに、電子データやソフト等の管理体制について再検討を行います。

(3) 令和3年度・令和4年度課題への対応

WEB・クラウド上の情報の共有システムの活用をさらに推進し、法人内の情報共有や意見収集の場としての仕組みを構築することで、業務の効率化を図ります。

6. 感染症対策及び災害対策

(1) 感染症対応BCPの策定の見直し

感染症対応BCPを策定しておりますが、前年度は、新型コロナウイルス感染拡大によりクラスターの発生の施設が増え、当法人の事業運営の在り方にも大きな影響がありました。

変化する新たな感染状況に対応できるよう、経験を活かしBCPの見直しを行い、令和3年度介護報酬改定により、義務化された委員会の開催、研修、訓練（シミュレーション）の実施にも取り組みます。

(2) 災害対応BCPに基づく防災訓練の実施

各拠点において防災訓練は、年2回実施しておりますが、感染対策を優先したものになっており、BCPに基づく訓練ができていない状況が見受けられます。

令和3年度介護報酬改定により、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等を義務づけられており、実施に向けて取り組みます。

(3) 令和3年度・令和4年度課題への対応

災害への対応においては、地域との連携が不可欠であることを踏まえ、非常災害対策(計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難等訓練の実施等)が求められています。

訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得ることが望ましく、地域と連携した訓練の実施を検討します。

7. 新・続3か年計画からの継続計画

(1) 利用者処遇改善の全施設への展開

これまで、法人内の特別養護老人ホーム3施設が受審した第三者評価の結果を令和4年度に検証し、その改善策について法人の全施設へ向けた計画を策定しております。

その計画にそって全施設へ水平展開し利用者処遇の改善に取り組みます。

(2) 人事考課規程・評価基準の見直し

令和2年度から一部の職種をはじめとして、人事考課の実施を拡大してきました。

すべての職種において人事考課を実施し、先行して実施してきた職種の人事考課の振り返りをおこない、改めて人事考課規程・評価基準を見直します。

(3) 令和3年度・令和4年度課題への対応

第三者評価受審していない介護老人保健施設や軽費老人ホーム、小規模多機能ホームにおいても特別養護老人ホームの受審結果から抽出した課題をそれぞれの施設形態に落とし込み、その自己評価を実施し、利用者へのサービス向上を図ります。

特別養護老人ホーム 福寿苑 事業計画

【1】 施設方針

- ① コロナウイルス感染症は類方の変更によりウイルスに対する対応はこれまでの方針から変化が生じる事になる。方針の変更があっても感染症が終息した状況にある訳ではないことから、標準予防策の徹底と感染拡大をさせずご利用者へ福祉サービスを受けていただけるよう事業所間連携を強化し運営を継続していきます。
- ② 訪問介護事業廃止に伴う地域における資源の減少とあわせて拠点の収益も減少となる。これまで以上に業務監督職が中心となり事業計画や事業収支に基づき運営する重要性と中間層の職員へは法令に沿った研修を計画的に実施。ご利用者ニーズに対応したサービス提供を行い支援内容にあわせて加算を取得するなど収益安定につながる運営となるよう徹底していきます。
- ③ 介護職員数低下により情報共有の難しさは職場風土の低下に直結する課題となっている。継続して介護職員の適正配置を目標とし、求人募集媒体および派遣会社等を継続的に利用していきます。また職員とご利用者の安心を確保するため意見交換が行える機会を増やし風通しの良い職場風土づくりを目指していきます。
- ④ 地域の方々が地域資源を活用し暮らしの継続ができるように当拠点事業所は高齢者福祉事業の実施をするだけでなく、地域の拠点として地域と連携し必要な支援にこたえていける社会貢献、福祉活動、教育活動を行うなど役割を認識し共生社会の実現に向けて活動をしていきます。

【2】 各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	72.0%	24.1%	7.3%	△3.3%
特別養護老人ホーム	95%	72.8%	28.9%	8.4%	△10.1%
短期入所生活介護	98%	59.0%	19.0%	0.6%	21.4%
通所介護	70%	75.0%	25.3%	14.9%	△15.2%
認知症対応型通所介護	65%	65.0%	15.0%	6.1%	13.9%

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	2484 件	75.0%	3.0%	1.0%	21.0%
	1 人 1 月	39.0 件				
介護予防	延べ	2400 件	55.0%	48.0%	0%	△3.0%
	1 人 1 月	42.0 件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

		開催件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	教室等	150 件	80.0%	15.5%	2.9%	1.6%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援
 集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター
 活動（集団）の合計件数

【3】拠点各事業の計画

(1) 特別養護老人ホーム（短期入所事業を含む）

- ① 短時間勤務労働者を積極的に採用し労働者確保を行う一方、配置不足により十分な体制整備が行えていない。勤務体制見直しは課題としてあり継続して労働環境改善に重点を置き、職員面談を行い細目に労務状況に目を向け、安定したサービス提供ができる雇用確保に努めます。
- ② 多職種の職員が連携し未取得である加算取得に目を向け、ご入所者の経口から安心して食事摂取をおこなえるよう支援を行い、経口維持加算取得する。また継続し取得している個別機能訓練を続け、身体機能を維持し生活を続けていただけるように支援を行い、ADL評価の提出できる体制整備とADL維持等加算取得を目指し、サービスの質向上と収益の向上を一体的に達成してまいります。
- ③ 介護保険法、老人福祉法令を遵守し質の高いサービス提供となるよう身体拘束防止、虐待防止、安全対策防止等に重点を置いた職員研修を行う。また適切な介護サービスを提供していく上で指導者となる職員教育及び指導の在り方といった人材教育も並行して行き「人間力」を高めていく取組みをする。

(2) デイサービスセンター

- ① 人員配置の充実を図り、事業所が掲げる認知症予防と認知症高齢者への理解について職員間で共有する。ご利用者が安心してサービスを受ける事業所であるように職員は接遇力向上を目指し支援を行う。
- ② 機能訓練を中心とすご利用者ニーズに対応できるようサービス体制を整備し、サービスの質向上に向けた加算取得を行う。安定した稼働を維持し安心してご利用いただける事業所運営をしていく。

(3) 居宅介護支援事業所

①「質の高いケアマネジメントの推進」

- ・一週間に一回会議を実施し、各担当者の利用者の状況を共有し、事業所全体で対応します。
- ・個別研修計画を策定し、ケアマネージャーのスキルアップを図ります。
- ・地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所の合同事例検討会に参加、多種多様なニーズに対応できるようケアマネジメント力をつけていきます。
- ・最新の介護保険制度情報を事業所内で共有します。

②「業務効率を図りワークライフバランスの実現」

- ・フレックス制度を活用し、ワークライフバランスを図り個別ニーズに対応していきます。
- ・テレワークを有効に運用し、多種多様なワークスタイルの構築を図ります。

③「地域の諸機関との連携強化」

- ・地域包括支援センターからの紹介される対応困難なケースの受け入れができる体制を常時確保していきます。
- ・多職種連携の場に積極的に参加し、連携強化に努め関係性を構築していきます。

(4) 地域包括支援センター

① 介護予防教室や家族介護教室など年間計画に沿って可能な限り開催することを目標とするが、引き続き新型コロナの影響で令和5年度も人数制限などが必要となります。また新たな地域での介護予防教室を開催する予定もあり、感染予防対策を講じながら、立ち寄り型など新たな形式での開催や、集合とリモート開催を併用するなどして、より多くの方が参加できるように取り組んでいきます。

② 令和5年度も新たな地域課題についての取り組みを高齢者生活支援等会議メンバーと協力して行っています。

③ 地域包括ケアシステム構築に関して、ケアマネ研修会や多職種連携研修会などコロナ禍であってもつながりを維持するため積極的にリモート開催や可能であれば顔の見える関係作りのため、集合での研修を行っています。

④ 共助まちづくりのため、定期的な「認知症サポーター養成講座」、圏域の2小学校での「キッズサポーター養成講座」・「高齢者疑似体験」をこれまで同様にコロナ禍であっても継続的に実施します。定期的に行っているおれんじサロンも感染予防対策を講じながら、継続していきます。

【4】単年度高額支出（予算額）

①厨房内給湯器取替 25万円 工事時期 令和6年3月

【5】地域の公益的な取組

「地域、医療と介護の連携」や「高齢者向けサロン」の運営をすすめる。

坂が多い山手地域の外出については課題多い。

拠点が開催する「買い物ツアー」については要望も多い中、コロナ禍で十分な活動が行えていないため再開し、地域との連携に向けた活動を継続する。

昨年度は地域学校向けに福祉において講演した機会から、施設入所事業の雇用につながっている。

コロナ禍により活動機会が減少した状況は地域も同じ状況にあることを踏まえて、地域に目を向けた活動する事は拠点の発展に大きな影響があると認識し計画的にすすめていく。

【6】別表

(1) 防災訓練

月	種別	内容
4	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練、水消火器を使用した模擬消火訓練
6	B C P 訓練（天災）	ライフライン停止から復旧までを想定した、備蓄食の取り扱い及び廃棄物の処理方法などの訓練
9	総合訓練	【消防職員立会いによる3施設合同の総合訓練】職員と入所者を対象とした通報、消火、排出訓練
11	B C P 訓練（感染）	感染症発生拡大から蔓延抑圧までを想定したシミュレーション訓練
12	夜間総合訓練	夜間並びに日祝日等職員の少ない場合を想定した夜勤者・宿直者による通報、消火、避難訓練
2	土砂対策訓練	職員と3.4.5F入所者を中心とした土砂災害時基礎訓練

(2) 行事計画

特別養護老人ホーム

月	行事内容
4	花見茶屋（苑庭散歩も含む） 花見写真展 日新桜まつり
5	鯉のぼり見学会 居酒屋「福ちゃん」 ・母の日メッセージ
6	居酒屋「福ちゃん」 ・父の日メッセージ
7	織姫彦星食事会（園庭ピクニック）
8	縁日出店巡り 昭和駄菓子屋昔遊び
9	敬老祝賀膳 若返りおしゃれ会
10	枚岡秋郷祭見学
11	紅葉散歩 紅葉写真展
12	クリスマスお食事会 5人のサンタクロース訪問
1	かわふくんと行くウェブ初詣（枚岡神社）
2	赤鬼 青鬼 鬼退治大会
3	ひな祭り、桃三昧（ちらし寿司・桃おやつ・桃入浴剤など）
毎月開催	・誕生日会・ホーム喫茶・DVD 観賞会・各種レクリエーション ・クッキングパーティー（不定期） 訪問販売

デイサービスセンター

月	行事内容
4	お花見
5	おやつ作り
6	お茶会（未来カフェ）
7	七夕祭り
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	運動会
11	焼き芋大会
12	クリスマス会
1	新年会
2	節分祭
3	ひな祭り
毎月開催	・季節のお風呂・誕生日・リズム体操・アコーディオン演奏 会・カラオケ・ごちそうの日

(3) 研修計画

特別養護老人ホーム

月	研修内容 (テーマ)
4	接遇研修 (サービス向上) 法人理念ビジョン (業務監督)
5	事故・リスクマネジメントに関する研修 (事故予防)
6	感染症に関する研修 (感染症)
7	褥瘡に関する研修 (褥瘡ケア) 身体拘束・虐待に関する研修 (身体拘束)
8	安全対策に関する研修 (安全対策) 口腔ケアに関する研修 (機能訓練)
9	苦情対応に関する研修 (苦情対応) 安全運転研修 (安全運転管理)
10	事故・リスクマネジメントに関する研修 (事故予防)
11	高齢者の人権・虐待に関する研修 (人権、虐待)
12	食中毒に関する研修 (感染症)
1	個人情報、プライバシー保護についての研修 (個人情報保護)
2	BCP に関する研修 (対策チーム)
3	認知症ケアに関する研修 (認知症ケア)
不定期	ミニ研修 (ハラスメント対策、OJT 研修、苦情対応研修。他)

デイサービスセンター

月	研修内容 (テーマ)
4	接遇
5	排泄
6	感染症
7	虐待
8	口腔ケア
9	安全運転
10	入浴介助
11	人権 (身体拘束)
12	食事介助
1	個人情報管理
2	BCP 研修
3	認知症

特別養護老人ホーム みのわの里 事業計画

【1】施設方針

- ① 職員全員が法人理念を共有し、それを基に行動することができ、ご利用者及びそのご家族・地域の皆様等にとって、なくてはならない存在となるように努めます。
- ② 感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、事業継続に向けた取組の推進、日頃から非常時の備えを整えます。
また、新型コロナウイルス感染症等において、時勢に沿った感染予防対策を適切に講じることで、ご利用者、職員等の安全を守り、安心したサービス提供に努めます。
- ③ 住み慣れた地域の身近な社会資源（施設）として、地域の皆様の尊厳を保ちつつ、地域の課題を抽出できる取り組みを行い、必要なサービスを提供できる、なくてはならない社会資源（施設）となります。
- ④ 介護記録システムの活用強化でのデータ管理への移行の推進、拠点内・外の通信ネットワークの活用を推進することでの業務効率の向上（生産性の向上）、職員の外部研修の積極的参加に努めます。その結果、業務のスリム化、職員のスキル向上により、ご利用者支援の厚みを増すことができ、サービスの質の向上を目指します。
- ⑤ 職員同士が正しい情報を共有する取組により、コミュニケーションを取りやすい環境を作り取り組みます。その結果、「良好な人間関係の構築」「職員が意見やアイデアを出しやすい環境」が実施でき、働きやすい施設となり、職員一人ひとりのやりがいを高めるとともに、利用者処遇の向上を目指します。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	67.4%	23.6%	3.8%	5.2%
特別養護老人ホーム	95%	58.6%	31.3%	4.3%	5.8%
短期入所生活介護	87%	51.5%	23.7%	5.5%	19.3%
通所介護（障害含）	80%	81.6%	16.0%	5.1%	△2.7%
認知症対応型通所介護	65%	72.4%	16.3%	2.8%	8.5%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取崩額）÷収益

		訪問件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
訪問入浴	延べ	899 件	114.0%	5.9%	0.7%	△20.6%
	1 日	3.5 件				
訪問介護 介護保険	延べ	17376 件	106.0%	4.7%	2.7%	△13.4%
	1 人 1 日	3.5 件				
訪問介護 障害福祉	延べ	10860 件	62.0%	4.0%	0.7%	33.3%
	1 人 1 日	2.8 時間				

※訪問入浴の訪問件数は年間延べ利用者数と1日あたりの訪問件数

※訪問介護（介護保険）の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1日あたりの訪問件数

※訪問介護（障害福祉）の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1日当たりの訪問時間

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	2838 件	81.0%	2.9%	0.8%	15.2%
	1 人 1 月	38.0 件				
介護予防	延べ	2160 件	63.1%	46.2%	0%	△9.3%
	1 人 1 月	36.0 件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

		開催件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	教室等	131 件	93.4%	7.3%	2.9%	△3.6%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の合計件数

【3】拠点各事業の計画

（1）特別養護老人ホーム

- ① 人権についてより理解を深め、ご利用者の尊厳を保ち、充実した生活が送れるように努めます。
- ② ご利用者・ご家族のニーズに応えるため地域の社会資源を活用し、個別支援の充実を図ります。感染症対策を行い、人混み等は避けてできる限りの支援を行います。
- ③ ご利用者に季節感・楽しい・美味しいと感じてもらえる食事の提供、1人ひとりの状態に応じた栄養管理を行い QOL の向上を目指します。ブログを通じて食事に関する情報を発信します。

(2) 短期入所生活介護

- ① 住み慣れた地域で在宅生活が継続して送れるよう、施設サービスにおいての自立支援の提供を行います。
- ② 地域の社会資源として、ご利用者、ご家族からの緊急受け入れ等の様々な要望に答え、選ばれる施設になります。

(3) 通所介護・認知症対応型通所介護・身体障害デイサービス

- ① OJT と連動した外部研修参加促進を実施する事で職員の知識や技術の向上を図り、質の高いサービス提供を行います。
- ② 施設内通貨等の認知症対応型通所介護での独自の取り組みにより、認知症の改善及び進行予防を図るとともに、ご利用者の生きがいと楽しみを持つことができるサービス提供の充実を図ります。
- ③ 現場視点からの業務効率に取り組みができるよう、風通しの良い一体感を感じる事ができる職場環境を目指しボトムアップを推進します。

(4) 訪問入浴

- ① ご利用者の身体状況、住環境等の様々な状況に対して、職員の介護力の向上とともに、正しい情報を共有することで、安心・安全な入浴サービスを提供します。
- ② 月に 1 件以上の新規利用獲得を目指し、訪問入浴事業の発信を行います。また、様々な事業所との連携を深めることを目的とし、積極的に事業所訪問（営業活動）を行います。

(5) 訪問介護

- ① 今年度より、法人の訪問介護事業統合による、タブレットの導入や介護記録システムの導入により ICT 化の活発化を目指します。それにより、職員 1 人ひとりの生産性向上、記録業務のスリム化、職員間の連絡業務の円滑化を目指します。職員間の情報共有が正確で速やかに行える環境を作り、安心して勤務ができる環境作りに努めます。
- ② 新規利用者獲得に努めます。また、要介護者の身体介護の提供を積極的に行えるように、事業所の強みを居宅介護支援事業所に発信します。
 - ・身体介護の割合、30%を目標とします。
- ③ 介護保険サービス外の自立支援に必要な自費サービスの提供をします。
- ④ 訪問介護事業の統合に伴い、新規事業となる障害福祉サービスの運営が安定して行え、ご利用者（そのご家族）に安心して生活を送っていただける継続したサービス提供を行います。

- ⑤ 地域の障害施設等と顔の見える関係を作り、連携し地域共生社会の推進を行います。

(6) 居宅介護支援事業所

- ① 重層的支援が行えるよう専門職として質の高いケアマネジメントを提供します。
 - ・年間18件の外部研修（障害福祉や医療）や事例検討会に参加します。
 - ・伝達研修を行い重層的支援体制に対応できるよう資質向上を図ります。
- ② 地域の身近な社会資源として貢献するために、医療機関・介護事業所・障害施設と連携し関係構築を図ります。
- ③ 業務効率化・ペーパーレス化を図り生産性向上を目指します。

(7) 地域包括支援センター

- ① 予防教室からの自主グループ化を促進します。
- ② 圏域事業所間の交流の実現をします。
- ③ 障害分野の事業所との連携を強化します。

【4】単年度高額支出（予算額）

エレベーターの経年劣化により、制御盤のリニューアル工事を計画します。

- ・エレベーター制御盤リニューアル工事 1,210万円

【5】地域の公益的な取組み

- ① 地域福祉の維持向上のため、地域の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らしていけるよう取り組みます。
 - ・地域サロンの開催による、地域課題の抽出・社会交流の場の提供を行います。
 - ・大阪府の社会貢献事業を活用し生活困窮者への支援を行います。
 - ・抽出できた、地域課題の解決に向けて取り組みます。
- ② 地域住民等への車椅子等の無料貸し出しを行います。
- ③ 月1回の地域清掃により、地域美化運動に取り組みます。

【6】別表

(1) 防災訓練

月	種別	内容
6	総合訓練	職員、入所者を対象とした通報、消火、避難総合訓練
10	夜間訓練	夜間、日祝日等職員の少ない場合を想定して、夜勤者・宿直者による通報、消火、避難訓練
12	地震訓練	大地震発生時の初動30分の行動シミュレーション訓練 (BCPに基づく訓練)
2	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練

(2) 行事・クラブ活動等

特別養護老人ホーム

月	行事内容	クラブ活動・余暇活動
4	屋台行事 (施設内行事)	クッキングクラブ (不定期)
5	外出行事 (お取り寄せ行事)	
6	スイカ祭	
7	外出行事 (お取り寄せ行事)	折り紙クラブ (1月、8月を除く月)
8	盆踊り大会	
9	敬老祝賀会	習字クラブ (1月、8月を除く月)
	愛保育園児訪問	
10	秋祭りだんじり見物	
	ハローウィン行事	
	みのわの里 福祉祭	
11	秋の収穫祭	クッキングクラブ (定期)
12	クリスマス会	
		年末もちつき見学
1	元旦祭	天ぷら行事 (不定期)
2	節分祭	お取り寄せ行事 (不定期)
3	憩いのお茶会	
その他	※感染症の流行状況を把握しながら適宜開催方法を検討し実施します。	

(3) デイサービス行事

月	行事内容
4	春のイベント・花見
5	母の日イベント・端午の節句
6	父の日イベント・室内運動会
7	七夕イベント・作業療法
8	夏のイベント・夏祭り
9	お月見イベント・敬老祝賀会
10	室内運動会・だんじり見学
11	食欲の秋イベント・秋祭り
12	今年もありがとうイベント・クリスマス会
1	正月行事・書き初め
2	春一番イベント・節分祭
3	ひなまつりイベント・作業療法

※感染症の流行状況を把握しながら適宜開催方法を検討し実施します。

(4) 研修計画

特別養護老人ホーム研修計画

月	研修内容 (テーマ)
4	・感染症予防研修 ・身体拘束防止研修 (認知症の理解)
5	・事故予防研修 感染症研修 (ガウンテクニック) ・認知症研修 (認知症サポーター養成講座)
6	・虐待防止研修 ・接遇マナー研修
7	・身体拘束研修防止研修 (不適切ケア) ・口腔ケア研修
8	・褥瘡予防研修
9	・認知症介護基礎研修 ・虐待防止研修
10	・感染症予防研修 ・身体拘束防止研修 (高齢者虐待防止) ・認知症研修 (認知症サポーター養成講座)
11	・看取り介護研修
12	・人権研修
1	・事故発生等緊急時の対応に関する研修 ・身体拘束防止研修
2	・認知症介護基礎研修 ・口腔ケア研修
3	・褥瘡予防研修

※痰吸引実施研修 随時

デイサービス研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	認知症ケアに関する研修
5	事故発生予防又はその再発防止に関する研修
6	感染症及び食中毒の発生及びまん延防止に関する研修
7	コーチング研修（スタッフ同士の会話・伝え方）
8	接遇マナー（言葉遣い・態度）に関する研修
9	虐待研修
10	認知症及び認知症ケアに関する研修（チームケアについて）
11	事故の発生等緊急時の対応に関する研修
12	人権研修 感染症及びまん延の防止に関する研修
1	介護予防 ・要介護度進行予防について
2	倫理及び法令順守に関する研修
3	非常災害時の対応に関する研修

訪問入浴研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	入浴に関する周辺介護技術
5	訪問入浴サービスにおける感染症の予防 ・コロナ感染対策
6	障害形態別入浴介護技術
7	介護サービス従事者の基本姿勢
8	入浴のリスクと効果
9	虐待研修 ・感染症の予防及び蔓延の防止について
10	訪問入浴サービスの役割と意義
11	住宅介護の特徴と基本対応についての理解
12	人権研修 ・入浴が身体と心理に与える影響
1	在宅で行われる医療処置の理解
2	苦情・相談への心構えと対応
3	認知症と周辺症状への理解と対応

訪問介護研修計画（介護保険事業・障害福祉事業）

月	研修内容（テーマ）
4	介護の基本
5	個人情報保護
6	食中毒の蔓延防止

7	コミュニケーション技法
8	プライバシー保護
9	高齢者虐待防止研修
10	事故発生時緊急時対応
11	認知症及び認知症ケア
12	人権研修
1	自立支援と重度化防止
2	感染症予防
3	法令順守

居宅介護支援事業所研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	・高次脳機能障害 ・事例検討会
5	・介護保険事業者集団指導 ・医療に関する勉強会 ・認知症に関する研修
6	・福祉用具体験会 ・地域他法人合同事例検討会 ・難病患者在宅医療支援研修会
7	・東大阪市との介護支援専門員の意見交換会 ・居宅介護支援事業所部会研修 ・後見制度研修会 ・対人援助研修会
8	・東大阪市認定調査員現任研修 ・医療と介護の連携研修会 ・障害福祉勉強会
9	・東大阪市認定調査員新規研修 ・介護保険住宅改修研修 ・虐待研修
10	・認知症研修 ・防災研修
11	・地域合同研修会 ・地域他法人合同事例検討会
12	・東大阪市神経難病地域ケア研究会研修 ・東大阪市認定調査員現任研修 ・人権研修
1	・東大阪市との介護支援専門員の意見交換会 ・支援困難ケース事例検討会 ・ハラスメント研修
2	・大阪府社会貢献事業研修 ・障害福祉勉強会
3	・東大阪市介護支援専門員現任者向け研修 ・接遇マナー研修 ・ターミナルケア研修
内部研修（随時）	・地域福祉研修 ・災害研修 ・人権研修 ・スーパーバイザー研修 ・対人援助技術研修 ・リスクマネジメント研修

地域包括支援センター研修計画

月	研修内容 (テーマ)
4	高次脳機能障害 事例検討
5	認知症研修 (認知症サポーター養成講座)
6	福祉用具勉強会
7	BCP
8	医療と介護の連携研修
9	虐待研修
10	認知症研修 (認知症サポーター養成講座)
11	CD 合同研修 (リハビリ)
12	人権研修
1	支援困難ケース事例検討会
2	社会貢献事業研修
3	ターミナルケア

全体研修 (運営会議で実施)

月	研修内容 (テーマ)
9	虐待研修 (法定研修) 虐待 ・不適切ケア等に関する研修
12	人権研修 (法定研修) 人権問題に関する総合研修

特別養護老人ホーム 布市福寿苑 事業計画

【1】施設方針

- ① 新型コロナウイルス感染の影響がでない施設運営を目指し、安定した財務基盤の確立を構築するため、各事業の収益費用状況を分析し、既存のサービスの見直し発展に取り組みます。
- ② ご入居者やご利用者の意思決定と人権を尊重したサービスの質の向上をするため、人員体制の整備や福祉に求められる職員像として職員の資質向上を目指した職場研修の体系（OJT・Off-JT・SDS）の構築とWEB研修やリモート会議を実施していきます。
- ③ 新型コロナウイルスを含めた感染症予防対策の策定と災害対策を含めた訓練を他の事業所や地域の方々にも参加していただき、地域の避難場所として安心して頼っていただける拠点づくりをいたします。
- ④ ご利用者処遇の向上や職員の業務負担の軽減のため、機器の導入や仕組みの改善により、業務効率の改善を図ります。
- ⑤ 高齢者や障がい者、児童、子育て世代の方々困ったときに相談しやすい拠点になるため、地域課題を抽出し、地域の方々と共に地域公益活動を実施いたします。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	68%	25.9%	3.0%	3.0%
特別養護老人ホーム	95%	63.6%	30.7%	4.2%	1.5%
短期入所生活介護	87%	57.5%	21.0%	0.5%	20.9%
通所介護	75%	65.9%	19.3%	2.6%	12.3%
認知症対応型通所介護	55%	104.1%	18.2%	0.1%	△22.5%
グループホーム	98%	75.6%	25.8%	3.0%	△4.4%

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	1848件	91.2%	6.4%	1.4%	0.9%
	1人1月	38.5件				
介護予防	延べ	3040件	36.4%	46.1%	3.0%	14.4%
	1人1月	50.6件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

		開催件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	教室等	127件	107.2%	12.6%	0.4%	△20.1%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援
集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター
活動（集団）の合計件数

【3】拠点各事業の計画

（1）特別養護老人ホーム

- ① 安定した財務基盤を構築するため、稼働率の維持・向上に向け空床期間の短縮に努めると共に短期入所との連携を図り、空床ベッドを活用することで多くの方に利用して頂けるよう努めます。また、各種加算の算定に積極的に取り組んでまいります。
- ② 安定した人材の雇用を目指し、安心・安全に働ける環境を整え、研修への積極的な参加や職員教育を実施しスキルアップに努めサービスの質の向上を目指します。
- ③ 褥瘡加算算定に向けての体制整備、職員のスキルアップに努め利用者様の皮膚トラブルの予防、ケアの向上を目指します。

（2）短期入所生活介護

- ① 介護士、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員、相談員等との情報を共有し、サービス提供を行い、利用者様・家族様に選んでいただける施設を目指します。
- ② 営業活動を継続し、稼働率の向上と安定に努めます。

（3）通所介護

- ① ご利用者・ご家族のニーズや目標に合わせて、機能訓練指導員等が外部のPTと連携の元、個別機能訓練計画を作成実施し、ご利用者の心身機能維持向上を目指します。
- ② 職員が自己啓発やOff-JTに積極的に取り組み、ウェブやリモートを活用して、個々のスキルアップを目指し、ご利用者への質の良いサービスを提供します。

（4）認知症対応型通所介護

- ① コロナ過においても、感染予防に努めながら地域交流を積極的に行い、地域住民や利用者家族との協力や信頼関係を築いていきます。また、運営推進会議の回数を十分確保し地域住民の方々のご意見をいただきながら事業活動に活かします。
- ② ご利用者のデイでの活動の選択肢を増やし、個別ケアの内容の充実を目指します。

(5) 居宅介護支援事業所

- ① 地域からの相談に対応できるように、近隣の地域包括支援センターと連携を図り、地域のニーズに応えられるよう努めます。
- ② 医療機関からの退院や施設からの退所の際に、在宅生活をスムーズに送れるように、地域の医療機関や事業所等との連携を図ります。
- ③ 事業所内で定期的に会議を開催し、支援方法に悩むケースの相談や検討を行います。

また、外部研修、他法人合同の研修会、地域支援センター等実施の事例検討会等への参加も行き、学んだ事を事業所内で伝達することで自己研鑽や地域の社会資源の情報共有に努めます。

(6) 地域包括支援センター

① 地域包括支援

- ・地域の高齢者の生活における課題を共有し、支援の取り組みを進めていく高齢者生活支援等会議で、第2層生活支援コーディネーターとして取りまとめている、地域課題の抽出や社会資源の把握、問題解決に向けたネットワークづくりに取り組んでまいります。
- ・認知症についての理解を促進するため、認知症サポーター養成講座・きつずサポーター養成講座を開催します。
また地域で認知症高齢者を支える体制づくりに向け、講座受講者を様々な年代、対象者に広げ実施していきます。
- ・東大阪市包括的支援事業実施方針に基づき、地域に出向いて包括的支援事業・地域介護予防推進事業等に取り組んでまいります。

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援

- ・これからも要支援1・2、基本チェックリスト事業対象者のご利用者、介護予防サービスや介護予防・生活支援サービスなど自立支援に向けて必要なサービス調整を行ってまいります。

(7) グループホーム布市真寿庵

- ① 職員は認知症について正しく理解し一人ひとりの望まれる暮らしができるようアセスメントし共同生活の中で人と人との関わりの中から信頼関係を構築しその人のニーズや目標を職員、家族、関係者で共有し、いつまでもその人らしい毎日を過ごしていただけるよう支援してまいります。
- ② 運営推進会議を通じて情報やご意見・ご要望を収集するとともにホームの活動を発信し、自治会の催しや地域の掃除等に積極的に参加し地域交流を深めていきます。

- ③ 入院による空床を防ぐために入居者の心身の状態の把握と他職種との情報共有による細かな気づきにより重症化を防ぎ、退居された場合は次の入居まで円滑に行えるよう待機者確保に努め稼働率98%を目指します。

【4】単年度高額支出（予算額）

- | | | | |
|------------------|-------|------|----|
| ① スプリンクラーポンプ改修工事 | 572万円 | 工事時期 | 9月 |
| ② 自動ドア改修工事 | 37万円 | 工事時期 | 4月 |
| ③ 厨房食器洗浄機入替工事 | 81万円 | 工事時期 | 8月 |

【5】地域の公益的な取組

（施設全体）

- ① 非常災害対策として事業所と地域住民の方の参加が得られるよう連携するため、訓練等を実施します。
- ② 新型コロナの予防対策として延期にしている地域活動を感染状況見て活動を再開し、ご利用者や職員が地域に出向いて地域との交流や支援をいたします。
- ③ 地域交流を深め、日下校区や石切校区の小学校、中学校との行事開催を進めていきます。
- ④ 新型コロナ予防対策は続きますが、施設見学や学生ボランティアの受け入れを積極的に行っていきます。

（地域包括支援センター）

- ① 石切中学校区内で、認知症サポーター養成講座・きつずサポーター養成講座を開催します。
- ② 石切東小学校区内で地域住民と東石切公園花壇の植え替えを行います。（年2回）

【6】別表

(1) 防災訓練

月	種 別	内 容
4	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、水消火器を使用した消火活動訓練
5	BCP 訓練	災害時事業継続活動（BCP）に基づく災害時訓練
7	緊急連絡訓練	緊急連絡網を使用し、全職員への連絡を行う訓練
9	総合訓練	（消防署立ち合い）特養・GH 職員と入所者を対象とした通報、消火、避難訓練
11	BCP 訓練	災害時事業継続活動（BCP）に基づく災害時訓練
1	緊急連絡訓練	緊急連絡網を使用し、全職員への連絡を行う訓練
3	総合訓練	夜間想定、特養・GH 職員と入所者を対象とした通報、消火、避難訓練

(2) 行事

特別養護老人ホーム

月	行事内容
4	日新高校桜まつり
5	春の外出・母の日・DVD鑑賞会
6	春の外出・父の日
7	花火大会
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	秋の外出・ハロウィン
11	ファミリー祭り
12	クリスマス会・ゆず湯
1	元旦祝賀会（おせち）・初詣
2	節分・バレンタイン
3	ひなまつり
毎月開催	・誕生日会・ホーム喫茶・訪問販売

デイサービス

月	行事内容
4	花見・新緑ドライブ・お楽しみ会・季節食
5	キャベツ焼き・お楽しみ会・季節食
6	運動会・お楽しみ会・季節食
7	ビアガーデン・お楽しみ会・季節食
8	夏祭り・お楽しみ会・季節食
9	敬老会・お楽しみ会・季節食
10	石切参道買い物ツアー・お楽しみ会・季節食
11	焼き芋・お楽しみ会・季節食
12	クリスマス会・お楽しみ会・季節食
1	ぜんざい・お楽しみ会・季節食
2	ベビーカステラ・お楽しみ会・季節食
3	バイキング・お楽しみ会・季節食

グループホーム布市真寿庵

月	行事内容
4	花見
5	ピクニック
6	運動会
7	七夕まつり
8	GH夏祭り
9	敬老会
10	焼き芋
11	紅葉
12	クリスマス会
1	初詣
2	節分
3	ひな祭り

(3) 研修計画

特別養護老人ホーム

月	研修内容 (テーマ)	
4	接遇マナー研修、新人職員研修	(Off-JT)
	感染症勉強会、喀痰吸引研修	(Off-JT)
5	特定給食研修、認知症勉強会	(Off-JT)
	接遇マナー研修会、口腔ケア勉強会	(Off-JT)
6	集団指導、認知症介護リーダー研修	(Off-JT)
	リスクマネジメント研修、災害研修	(Off-JT)
	感染症講習会、食中毒予防講習会	(Off-JT)
	感染症勉強会、人権研修	(Off-JT)
7	身体拘束勉強会、喀痰吸引研修	(Off-JT)
	認知症介護リーダー研修、人権研修	(Off-JT)
8	認知症勉強会、事故対策委員会勉強会	(Off-JT)
	認知症介護リーダー研修、喀痰吸引研修	(Off-JT)
9	感染症勉強会、褥瘡予防勉強会	(Off-JT)
	リスクマネジメント研修、口腔ケア勉強会	(Off-JT)
10	認知症勉強会、人権研修	(Off-JT)
	栄養士研修、特定給食研修	(Off-JT)
	感染症勉強会、接遇マナー研修	(Off-JT)
11	喀痰吸引研修	(Off-JT)
	人権研修、看取り研修会	(Off-JT)
12	認知症勉強会	(Off-JT)
	看取り研修会、人権研修	(Off-JT)
	感染症勉強会、喀痰吸引研修	(Off-JT)
1	口腔ケア勉強会	(Off-JT)
	認知症勉強会、事故対策委員会勉強会	(Off-JT)
2	高齢者虐待勉強会・身体拘束勉強会	(Off-JT)
	防災研修、感染症勉強会	(Off-JT)
3	喀痰吸引研修	(Off-JT)
	OJT推進研修	(Off-JT)
随時	認知症勉強会、人権研修	(Off-JT)
	認知症基礎研修	(Off-JT)

布市福寿苑デイサービスセンター

月	研修内容 (テーマ)	
4	人権・高齢者虐待防止に関する研修	(Off-JT)
5	倫理・法令遵守・接遇マナー (サービス向上)	(Off-JT)
6	食中毒・感染症の予防と対策	(Off-JT)
7	プライバシー保護について・権利擁護 (成年後見)	(Off-JT)
8	介護予防・機能訓練に関する研修 (歩行等)	(Off-JT)
9	身体拘束排除のための取組みに関する研修	(Off-JT)
10	認知症に関する研修	(Off-JT)
11	介護技術研修	(Off-JT)
12	事故発生時の対応・リスクマネジメント	(Off-JT)
1	非常災害の対応	(Off-JT)
2	緊急時対応介護技術研修	(Off-JT)
3	安全運転講習	(Off-JT)

グループホーム布市真寿庵

月	研修内容 (テーマ)	
4	認知症ケアに対する研修	(Off-JT)
5	身体拘束等の適正化の為の研修	(Off-JT)
6	事故防止・リスクマネジメント研修	(Off-JT)
7	感染症の予防及びまん延防止のための研修	(Off-JT)
8	業務継続計画についての研修	(Off-JT)
9	緊急時の対応に関する研修	(Off-JT)
10	身体拘束等の適正化の為の研修	(Off-JT)
11	高齢者虐待防止研修	(Off-JT)
12	感染症・食中毒の予防及びまん延防止のための研修	(Off-JT)
1	苦情処理に関する研修	(Off-JT)
2	人権研修	(Off-JT)
3	業務継続計画についての研修	(Off-JT)

介護老人保健施設 枚岡の里 事業計画

【1】施設方針

- ① 社会福祉法人川福会の理念に基づき、ご利用者の人権や思いを尊重したケアを推進し、ご利用者に安心と幸せを感じていただける施設経営を行います。
- ② 介護、医療、リハビリテーションの質を追求し、ご利用者に満足していただける透明性のあるサービスを提供します。
- ③ 感染症や災害が発生した時への備えとして、事業継続計画の見直しや訓練を行い、ご利用者の暮らしと安全を守ります。
- ④ 高齢者をはじめとする地域の人々の暮らし、生活にお役立ていただける介護老人保健施設を目指します。
- ⑤ 職員同士で人間力を高め合い、働きやすい職場環境作りと人材の定着を図り、安定した介護サービスを提供します。

【2】各事業の数値目標

拠点	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
介護老人保健施設	94%	59.0%	26.7%	9.1%	5.2%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取り崩し額）÷収益

【3】拠点各事業の計画

（1）介護老人保健施設

- ① 在宅復帰率の改善に向けて、他職種連携の強化、取組みの検討や見直しを行います。（目標在宅復帰率 20%）
 - ・入所前後訪問指導への関わりを強化し、内容を充実させる。
 - ・ケアカンファレンスの見直しを行い、目標や方針を明確にする。
- ② 安定した施設運営が行えるように、在宅復帰在宅療養支援等指標の改善と新規加算の算定要件を整備します。
 - ・入所後の退所先について方向性を明確にし、計画的に退所の調整を行う。
 - ・心身の状況等の変化と把握に努め、介護認定が適正であるか評価する。
 - ・科学的介護推進加算算定に向けた体制を整備する。
- ③ ご利用者の人権を擁護し、透明性のあるサービスを提供していただけるように新たな体制を確立します。
 - ・虐待防止委員会を立ち上げ、担当者を設置する。
 - ・虐待の防止のための指針を整備する。
 - ・委員会の定期的な開催と周知、研修を実施する。
- ④ 健康で楽しみのある時間を過ごしていただけるように、QOLの向上を図ります。

- ・行事やレクリエーション、クラブ活動の内容の見直しと改善を行う。
 - ・面会方法の見直しを図る等して、ご利用者のご家族の関わりを作る。
 - ⑤ ご利用者へ早期に介護サービスを提供することが出来るように平時から災害の発生に備えます。
 - ・事業継続計画に基づき、訓練の実施、物品の整備と確認を行う。
 - ⑥ 職場環境の改善と育成や研修方法の改善を行うことで、専門性と人間力の高い職員を育成し、職員の定着、離職防止を図ります。
 - ・体制や指示系統の確認、修正を行い、風土と組織力を強化する。
 - ・今あるハード面・ソフト面を駆使し、業務改善を行い、生産性を上げる。
 - ・常態的にOJTが行える職場を作り、偏りのないOFFJTに改善する。
- (2) 短期入所療養介護
- ① 緊急を要する相談には、迅速に検討、対応、準備を行い、ご利用者に安全で安心した生活の場を提供します。
 - ② ニーズに添った個別ケアを行い、ご利用者やそのご家族に再びご利用していただける短期入所療養介護を目指します。

【4】単年度高額支出（予算額）

なし

【5】地域の公益的な取組

- ① 地域包括ケアシステムの担い手の一つとして役割が果たせるように、広報活動を通して有益な情報を発信します。
- ② 自治体や地域包括支援センター等が主催する介護体験や認知症サポーター養成講座に参加・協力・講師派遣を行い、学生や未就学児と共に高齢者が住みやすいまちづくりに努めます。
- ③ 福祉への興味や関心を持っていただけるように学生をはじめとするボランティアとの関りを深めていきます。
- ③ 地域住民の生活の中で役に立てるように介護老人保健施設の特色を活かした介護教室や講習会を開催します。
- ⑤ 地域の活動や催し、非常災害時に活用していただけるように、食堂スペースの開放や備品の提供、貸し出しを行います。

【6】別表

(1) 防災訓練

防災訓練・災害時事業継続計画に基づく防災訓練を年2回以上開催します。

月	種別	内容
4	消火訓練	職員を対象に防火機器・器具の取扱い方法、消火活動の訓練
7	日中訓練	日中の火災を想定し、自身で避難が出来ないご入所者を中心とした避難誘導訓練
10	災害訓練	職員を対象に地震・台風・土砂等、自然災害を想定した避難誘導、通報連絡訓練
12	夜間訓練	夜間の火災を想定し、自身で避難が出来ないご入所者を中心とした避難誘導訓練
2	合同訓練	枚岡の里・福寿苑・ケアハウスひらおか3施設合同による通報及び避難誘導訓練（消防署立会い）

(2) 施設行事

月	行事内容
4	お花見会
5	端午の節句
6	食事行事（たこ焼き等）
7	七夕祭り
8	夏祭り・おやつ行事（かき氷）
9	敬老祝賀会
10	ハロウィンパーティー・枚岡秋郷祭
11	おやつ行事（焼き芋）
12	クリスマス会
1	元旦祭
2	節分祭
3	雛祭り
毎月開催	誕生日会・里喫茶・お料理クラブ・活け花・各種レクリエーション

(3) 研修計画

月	研修内容
4	人権・身体拘束廃止研修
5	食中毒予防研修・感染症発生及びまん延想定訓練
6	認知症キャラバンメイト
7	接遇・対人援助研修
8	災害発生を想定した訓練
9	安全対策リスクマネジメント研修
10	感染症対策研修（インフルエンザ・コロナウイルス） 人権・身体拘束廃止研修
11	感染症対策研修（ノロウイルス）・感染症発生及びまん延想定訓練
12	褥瘡予防・栄養に関する研修
1	認知症ケア研修
2	高齢者虐待防止研修
3	安全対策リスクマネジメント研修
入職時	新入職員感染症対策研修 新入職員身体拘束廃止研修 新入職員事故・安全対策研修

介護老人保健施設 長田の里 事業計画

【1】施設方針

- ① 職員一人一人が、社会福祉法人としての責務を自覚し、コンプライアンスを常に意識をした行動をとります。
- ② 質の高いサービスの提供することで、透明性、公益性が高い安定した経営を行ってまいります。
- ③ ご利用者・ご家族の意思及び人権を尊重し「利用者本位・質の高いサービス」及び「真のニーズにあったサービス」を提供し続けていけるように人材確保に注力し適切な人員配置を行いながら、職員の意識改革、OJT・OFF-JT・SDSを通して人材育成に取り組んでまいります。
- ④ 包括ケアの実現に向けて、介護と医療の専門性を高め、多種多様な働きが出来る介護老人保健施設を目指し、有する機能をより充実したものにしていきます。
- ⑤ 今後、想定しうる感染症の拡大、災害発生時に備え、BCP（事業継続計画）を策定・見直しを随時実施します。また定期的な訓練の実施、日頃からの対策を徹底することでご利用者・地域に必要なサービスを安定的・継続的に提供できるように努めてまいります。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
長田の里（拠点）	—	64.3%	27.7%	4.0%	4.0%
介護老人保健施設	94%	62.2%	30.6%	4.6%	2.6%
通所リハビリテーション	75%	70.7%	21.1%	2.0%	6.2%

		担当件数	人件比率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	1956 件	77.1%	4.2%	0.9%	17.8%
	1人1月	32.6 件				
介護予防	延べ	396 件				
	1人1月	11.8 件				

【3】拠点各事業の計画

(1) 介護老人保健施設

在宅復帰強化型施設への移行を見据えた取り組みをさらに強化し、多種多様なサービスを提供出来、地域に密着した施設として活動致します。

- ① 介護老人保健施設の機能と特色を活かし、在宅復帰に向けての支援を強化します（在宅復帰率 20%）
 - ・入所される場合には入所前後に自宅へ訪問し、ご利用者及び家族の希望・ご利用者の能力を把握し、在宅復帰に係る目標を掲げ、多職種協同のもと施設サービス計画を策定してまいります。
 - ・日常生活場面を想定したリハビリテーションの実施及び定期的に評価を行い、多職種連携のもと、在宅復帰支援に努めてまいります。
 - ・退所後も自宅へと訪問し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう療養上の指導及び居宅介護支援事業所との連携を図ってまいります。
- ② 介護老人保健施設として安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。
 - ・ご利用者の状態像を把握し、ご利用者の意向を基盤とした退所先を選定し、ベッド回転率 5% を維持します。
 - ・定期的に居宅介護支援事業所や医療機関等を訪問し情報収集及び営業活動を実施致します。
 - ・質の高いサービスを提供していくために、各職種の人材の確保、適材適所の配置を実施してまいります。
- ③ ご利用者の健康管理に努めます。
 - ・ご利用者の状態管理を行い、異常の早期発見、早期治療に努め、入院者の減少に努めてまいります
 - ・良好な健康状態を維持するために、職員の意識向上を目指し、研修・指導を実施してまいります。
 - ・感染症に係る情報収集、情報発信、施設内研修により、職員の意識向上を図り、感染症予防に努めてまいります。
- ④ 地域福祉の拠点となるよう包括的なサービスの提供に努めます。
 - ・併設の居宅介護支援事業所・通所リハビリテーションとの連携を密に情報を共有し、短期入所療養介護・入所サービス利用の必要性が生じた場合には円滑に受け入れを行ってまいります。
- ⑤ ご利用者に安全安心に施設生活を過ごしていただけるように生活環境を整えてまいります。
 - ・インフォーマルな資源を活用することで新たな行事を企画し、利用者満足度の向上を図ってまいります。
 - ・職員による定期的な行事を開催し、利用者の満足度の向上を目指します。
- ⑥ 安全で快適な食事の提供に努めます。
 - ・衛生管理の徹底を図り、異物混入ゼロを目標とします。
 - ・季節の行事などの際は季節を感じさせる旬のものを取り入れて変化に富んだ

食事サービスを提供し、ご利用者に食生活を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

- ・快適な食生活を送れるよう生活リズムに適した時間に、最適な温度・形態で提供できるようにします。
- ・定期的に給食委員会を開催し、食事内容を検討し、よりよい食事を提供できるようにします。

⑥ 施設職員の職務能力の向上と意識改革を行い、ご利用者の意向に寄り添ったサービスを提供します。

- ・職員研修については、1カ月に1回実施致します。また、職員研修の在り方について見直し、多くの職員が考動出来るような研修を企画いたします。
- ・利用者・家族の声に耳を傾け、各種委員会に反映させる事により、ご利用者本位のよりよいサービスを提供致します。
- ・新たな加算の取得を目指すことで、ご利用者に質の高いサービスを提供します。
- ・感染症拡大や災害を想定したBCP訓練を年1回実施し、ご利用者、職員の安全確保及びサービス機能維持と継続に努めてまいります。
- ・ICT環境を整え、リモートでの研修や会議に参加し、職員の能力向上に努めます。

⑦ ご家族とご利用者の繋がりを大切にします。

- ・ご家族宛にご利用者から手紙を送らせていただきます。
- ・行事等、定期的に写真をご家族に送付させていただきます。
- ・広報委員会からブログの作成を定期的に実施致します。
- ・訓練内容等、ご利用者の動画を観ていただく機会を提供致します。

(2) 通所リハビリテーション

① 心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法・作業療法、その他必要なリハビリを提供し介護・看護・療法士など多職種でご利用者の生活を支援していきます。

- ・ご利用者の生活目標に応じたリハビリ・機能訓練プログラムを多職種が協働して考え、心身機能の維持回復を図ります。
- ・ご利用者のニーズに合わせ残存機能を最大限に活かした生活リハビリを実施する事で在宅生活の充実を図ります。
- ・デイケアでのご様子やご利用者の能力の報告や自宅内でのより良い生活の提案を行うことにより、ご家族やケアマネージャーとの関係性を強め、ご利用者が安心した環境にて在宅生活を継続できるように支援します。
- ・リハビリマネジメント加算算定の体制を整えて算定を行います

- ② 職員のスキルアップ及び人材育成に取り組みます。
 - ・介護・看護・リハビリが合同で行う勉強会を3ヶ月に1回実施し、生活リハビリや機能訓練の意味や実施方法について理解して提供する事を目指します。
 - ・職員の希望する研修を取り入れ介護技術のスキルアップを図ります。
 - ・定期的な個人面談を通して目標管理を実施し、OJTの推進、強化に努めます。
- ③ 業務改善を積極的に行い、働きやすい職場環境作り・残業時間の減少に取り組みます。
 - ・月1回業務内容及びペーパーレス化に向けての書式の見直しを行い、業務効率アップに繋げ残業を減らします。
- ④ 通所リハビリテーションを安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。
 - ・定期的に居宅介護支援事業所を訪問し情報収集及び営業活動を実施します。
 - ・事業での取り組みや様子等の外部発信を積極的に行っていくために月1回のブログ投稿を行います。

(3) 居宅介護支援事業所

- ① ご利用者、ご家族に本当に喜ばれ、安心して自宅での生活を続けられる支援を実施します。
 - ・重大インシデントに類する苦情については撲滅を目指します。定期的な面談と振り返りを行います。上半期、下半期。週1回の定例会議での振り返りを行います。困難ケースの対応は事業所としても共通認識していくようにします。
 - ・職員個々の課題を共有し取り組めるようにします。
 - ・個別研修での取り組み。課題取り組みを評価していきます。
 - ・フレックス勤務を有効に行い、引き続きテレワークにも取り組み、多様な働き方に取り組みます。
 - ・担当者不在時における対応を高めます。(記録の整備、毎週の定例会の中での情報共有化の徹底)
- ② 地域に信頼される事業所を目指し、諸機関と連携を深めていきます。
 - ・医療機関及び老人保健施設との入退院時等含め連携に努めます。
 - ・併設老人保健施設、デイケアとの迅速・密接な連携を図り居宅支援事業所との相談体制を整えていきます。
 - ・市内地域包括への継続的な営業活動を実施し、連携を深めます。
 - ・当事業所の特色の発信、顔の見える関係づくりの取り組みを行います。
 - ・地域包括等が主催する研修会等へも参加します。
 - ・近隣の他法人との居宅事業所との合同の事例検討会の開催致します。
 - ・介護支援専門員実務研修の受け入れを行います。

【4】単年度高額支出（予算額）

利用者処遇の向上・業務効率の改善・職員の職場環境整備を目的に下記内容を計画いたします。

- ① LED設備導入 1, 100万円
- ② 一般浴槽スロープ設置 100万円

【5】地域の公益的な取組

- ① 地域清掃への参加をします。
子供たちが安全に気持ち良く公園で遊べるように、年6から8回公園清掃に参加します。
- ② 認知症サポーター養成講座を開催いたします。
認知症になっても安心して暮らしていける地域作りをめざして、地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座を開催いたします。
- ③ 地域の社会資源としての役割を担っていきます。
自施設または地域に出向き、認知症予防・腰痛予防の講習会などを企画・実施し、地域との交流を深めてまいります。
- ④ 感染症拡大下にあっても、HPなどで地域にとって有益な情報の発信を行ってまいります。

【6】別表

(1) 行事計画

介護老人保健施設

月	行事名
4	誕生日会
5	端午の節句・誕生日会
6	バイキング・喫茶・誕生日会
7	七夕祭り・誕生日会
8	夏祭り・誕生日会
9	敬老祝賀会・誕生日会
10	地車訪問・誕生日
11	バイキング・誕生日
12	クリスマス会・誕生日会
1	元旦祭・鍋の日・誕生日会
2	節分・誕生日会
3	スイーツバイキング・誕生日会

通所リハビリテーション

月	行事名
4	お花見・誕生日会
5	端午の節句・誕生日会
6	おやつ行事・誕生日会
7	七夕祭・誕生日会
8	夏祭り・誕生日会
9	敬老祝賀会・誕生日会
10	スポーツ大会・誕生日会
11	焼き芋大会・誕生日会
12	クリスマス会・誕生日会
1	初詣・誕生日会
2	節分・鍋行事・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会

(2) 防災訓練

月	種 別	内 容
6	消火器訓練	水消火器を使用して、火災発見から消火活動までの一連の流れを習得する訓練
10	総合訓練	夜間を想定した通報訓練・消化訓練・避難誘導訓練（消防署立会い）
12	地震訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保するための訓練
2	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練

(3) 研修計画

月	内部研修	外部研修
4	新人研修	
5	褥瘡予防研修	
6	人権・接遇マナー研修	食中毒予防対策講習会
7	食中毒対策	
8	災害時の対応	
9	事故防止・再発防止・緊急対応	看護実務者研修（身体拘束廃止）
10	倫理・法令順守	大阪府認知症介護基礎研修 リスクマネジメント研修会 褥瘡排泄ケア研修会
11	認知症ケア・個人情報保護	認知症介護実践者研修 感染症予防対策研修 高齢者施設結核基礎知識講習会 全国老人保健施設協会実施研修
12	感染症予防・腰痛予防	介護リーダーに必要な現場の問題 解決力アップセミナー
1	褥瘡予防研修	
2	身体拘束・高齢者虐待防止	大阪府キャラバンメイト養成講座
3	事故防止・再発防止・緊急対応	腰痛予防対策研修会

ケアハウスひらおか 事業計画

【1】施設方針

- ① ご入居者の方々の人権を尊重し、その方が自分らしく過ごせるようニーズにあった生活支援に取り組んでまいります。
- ② 職員一人ひとりが、社会福祉法人としての責務を自覚し質の高いサービスを提供できる人材育成に取り組めます。
- ③ 安全で快適な食事の提供に努めます。
- ④ 感染対策の継続を行い 施設内感染を予防致します。
- ⑤ 地域のニーズに合った支援拠点として運営に取り組んでまいります。

【2】各事業の数値目標

拠点	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
ケアハウス	96%	39.0%	60.6%	8.6%	△8.2%

【3】拠点各事業の計画

- ① 入居者の健康管理、現在の生活状況の把握を迅速に行い異常の早期発見に努めてまいります。
- ② 職員の意識向上を目指し、外部研修（オンライン）、施設研修、指導の実施してまいります。
- ③ 今後、感染症の拡大・災害発生時に備えBCP（事業継続計画）の策定を行い、入居者・地域にサービスを安定、継続的に提供できる体制を構築してまいります。

【4】単年度高額支出（予算額）

- ① 給湯設備改修工事（貯湯タンク既設利用） 480万円

【5】地域の公益的な取組

- ① 地域包括主催活動への参加
 - ② 小地域ネットワーク活動への参加
 - ③ 自治会活動への参加
- 各活動への参加を通じ地域の拠点施設となり取り組んでいきます。

【6】別表

(1) 年間防災訓練計画

月	訓練種類	訓練内容
6	総合訓練	昼間の時間帯を想定して、通報、消火、避難訓練・非常用放送設備などの確認及び使用方法を学ぶ避難訓練
9	予防訓練	防災の心得（ビデオ鑑賞）防災監視盤・非常通報装置の確認
12	総合訓練	消防署立会いによる夜間ならびに職員が少ない場合を想定して、通報、消火、避難訓練
3	通報訓練	緊急連絡網を使用した模擬通報訓練

(2) 年間行事計画

月	施設内定例行事
4	花見会（ドライブ）・誕生日会
5	端午の節句（菖蒲湯）・おやつ会・誕生日会・ひらおか健康祭り
6	おやつ会・誕生日会
7	七夕祭り・おやつ会・誕生日会
8	夏祭り（4施設合同）・おやつ会・誕生日会
9	敬老祝賀会・勇勢師子王太鼓訪問・誕生日会
10	枚岡神社秋郷祭・太鼓台訪問（地域住民慰問）・誕生日会
11	鍋の会・おやつ会・誕生日会
12	クリスマス会・冬至（ゆず湯）・おやつ会・誕生日会
1	元旦祝賀会・七草がゆ・鏡開き・鍋の会・誕生日会
2	節分祭（豆まき）・鍋の会・おやつ会・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会・鍋の会

(3)年間研修計画

月	研修題目
4	法人理念研修・身体拘束対策検討委員会
5	リスクマネジメントに関する研修
6	感染症・食中毒予防対策研修
7	事故対策研修・身体拘束対策検討委員会
8	人権研修
9	サービスマナー研修
10	リスクマネジメントに関する研修・身体拘束対策検討委員会
11	感染症対策研修
12	メンタルヘルス研修・個人情報保護研修
1	身体拘束対策検討委員会
2	感染症対策研修
3	高齢者虐待防止研修

ケアハウス喜里川 事業計画

【1】施設方針

- ① 入居者・利用者の人権の尊重及び自由と尊厳を守り、利用者本位、自立支援に向けたサービスを提供します。
- ② 目標稼働率の達成及び費用の合理化、適正化により、収支バランスの改善を目指します。
- ③ 地域貢献活動を推進し、社会福祉法人の責務を果たします。
- ④ 働きやすさと充実感が得られる職場づくりを目指します。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	51.5%	51.8%	7.2%	△10.5%
ケアハウス	93%	41.5%	59.1%	8.4%	△9%
地域密着型通所介護	56%	89.5%	24.1%	2.6%	△16.2%

【3】拠点各事業の計画

(1) ケアハウス

- ① 目標稼働率の達成を目指します。
 - ・待機者リストの作成及び綿密な連絡等により、待機者の進捗状況をタイムリーに把握します。
 - ・入居者の入院状況や心身状況の変化等を鑑み、迅速かつ計画的に入退所の調整を行います。
 - ・日曜、祝日の施設見学、入居相談に対応できる体制を確保します。
 - ・施工業者と密接に連携し、退所後の居室清掃、修理等を円滑に行います。
 - ・効率的かつ効果的な営業を展開し、待機者の増加につなげます。
- ② 入居者の処遇改善に努めます。
 - ・利用者満足度アンケートの実施等により、ニーズ把握・改善に努めます。
 - ・入居者の多様なニーズに対応すべく相談体制の充実化を図ります。
 - ・ご家族、関係機関との連携強化により、入居者のQOL低下、身元保証人の高齢化等の課題解決に取り組みます。
- ③ 働きやすさと充実感が得られる職場づくりを目指します。
 - ・日々の業務の見直し、効率化を図ることで職場環境を整えます。
 - ・職員同士が互いを受け止め、認め合うことで風通しのよい職場づくりを推進します。
 - ・研修体系の充実化により、職員個々のスキルアップ、人権意識の向上を図

り、入居者や家族から必要とされる人材育成を行います。

(2) 通所介護（地域密着型）

① 稼働率の向上を図ります。

- ・リハサポ、センサー型重心システムを積極的に活用することで、新規利用者の獲得に努めます。
- ・他の機能訓練特化型デイとの差別化を図る為に「入浴・機能訓練・食事」を一体的かつ短時間で提供し、更には、軽度者のニーズ把握を実施しつつ、新たな特化サービスを創造します。
- ・リハビリニーズの把握・分析により利用者のターゲットを絞り込むなど、より効果的な営業を展開します。

② サービスの質の向上を目指します。

- ・利用者満足度アンケートの実施等によりニーズ把握・改善に努めます。
- ・研修体系の充実化により職員個々のスキルアップ、人権意識の向上を図り、利用者や家族から必要とされる人材育成を行います。

(3) 短時間通所型サービス（緩和型総合事業サービス）

- ・利用者の獲得を目指します。
- ・地域住民や地域包括支援センターに営業活動を展開します。
- ・運営推進会議等を通じて介護予防に関する普及啓発を行います。

【4】単年度高額支出（予算額）

利用者処遇の向上、職員の職場環境整備を目的に以下の内容を計画いたします。

- ① 4階、5階系空調機の更新 610万円
- ② 1階系空調機の更新 910万円

【5】地域の公益的な取組

- ① 地域住民への拠点設備の開放
- ② 生活困窮者自立支援法に基づく就労支援事業への参画継続
- ③ 低所得者への法人減免措置の実施継続
- ④ 地域包括支援センターが実施する様々な取り組みへの協力

【6】別表

行事計画

ケアハウス

月	行事名
4	花見ドライブ ・誕生日会
5	外出行事 ・誕生日会
6	買い物ツアー ・誕生日会
7	夕涼み会 ・誕生日会
8	4施設合同夏祭り ・誕生日会
9	敬老祝賀会 ・誕生日会
10	外出行事 ・誕生日会
11	文化祭 ・おやつレク ・誕生日会
12	クリスマス会 ・誕生日会
1	元旦祭 ・鏡割り ・誕生日会
2	節分 ・鍋の会 ・誕生日会
3	選択食 ・誕生日会

地域密着型通所介護

月	行事名
4	花見ドライブ ・誕生日会
5	石切参拝（参道散歩） ・誕生日会
6	買い物ツアー ・誕生日会
7	夏祭り ・誕生日会
8	ボーリング大会 ・誕生日会
9	敬老祝賀会 ・誕生日会
10	買い物ツアー ・誕生日会
11	文化祭 ・誕生日会
12	クリスマス会 ・誕生日会
1	元旦祭 ・鏡割り ・誕生日会
2	節分 ・焼き芋大会 ・誕生日会
3	ひな祭り ・誕生日会

年間研修計画

ケアハウス

月	研修名
4	認知症ケア研修
5	身体拘束防止研修
6	感染症対策研修
7	事故対策研修
8	虐待防止研修
9	サービスマナー研修
10	認知症ケア研修
11	感染症対策研修
12	身体拘束防止研修
1	事故対策研修
2	虐待防止研修
3	BCP 研修

地域密着型通所介護

月	研修名
4	認知症ケア研修
5	介護保険制度研修
6	感染症対策研修
7	事故対策研修
8	虐待防止研修
9	サービスマナー研修
10	認知症ケア研修
11	感染症対策研修
12	介護技術研修
1	事故対策研修
2	虐待防止研修
3	BCP 研修

年間防災訓練計画

月	種 別	内 容
5	昼間想定避難訓練	ケアハウスとデイサービスが合同で行う、 昼間の火災発生を想定した避難訓練
8	夜間想定避難訓練	ケアハウス単独で夜間を想定した通報訓 練・避難誘導訓練
11	地震対応訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保す るための訓練
2	夜間想定避難訓練	ケアハウス単独で夜間を想定した通報、避 難誘導訓練（消防署立ち合い）

小規模多機能ホーム ごりょうの家 事業計画

【1】 施設方針

- ① 利用者一人一人のニーズをとらえ、細やかなサービスを実施することでその人らしさを最大限発揮できるように支援していきます。
家庭的な環境で安心できる場所の提供を今後も継続していきます。
- ② With コロナを見据えて、可能な限り地域支援活動には取り組み、地域の公益的な取組を推進いたします。
- ③ 開設して5年経ちますが、初心の気持ちを忘れず、利用者の立場に立った介護を継続できるよう、オンライン研修も積極的に取り入れ、専門職としての資質の向上、人間力の向上に努めます。
- ④ シフトを柔軟かつ横断的な調整を図ることで適切な人員配置を行なうことで、新規獲得、組入れなどを積極的に受け入れやすくします。そして収支の改善を図り、拠点（資金収支）での黒字化を目指します。

【2】 各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	70%	85.0%	14.7%	13.7%	△13.4%
小規模多機能型居宅介護	74%	85.6%	15.2%	14.2%	△15.0%
認知症対応型通所介護	65%	84.0%	13.8%	12.8%	△10.6%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取り崩し額）÷収益

【3】 拠点各事業の計画

(1) 小規模多機能型居宅介護

- ① 夕食後や午前のみなどニーズの高い時間帯への受け入れをPRし、それに合わせた人員体制を整えると共に、要介護の利用者を中心に獲得を目指します。
その為に研修も積極的に実施するなどの人材育成も推進していきます。
- ② 収支のバランスを注視し、適正な人員配置に努めます。
- ③ 介護支援専門員を採用したことで、管理者との兼務を解消し、これまで以上に専門性を高めると共に、受け入れ窓口を広げます。
- ④ 実績を増やすことを最優先し、科学的介護推進体制加算を取得します。
実績が安定すれば職員体制を整えて法人内の理学療法士と連携を図り、生活機能向上連携加算（I）の取得を目指します。

(2) 認知症対応型通所介護

- ① 認知症ケア理念「笑顔とチームワークを大切に。あたたかいサービスを」を指針として、人材育成を実施し、職員の資質や能力を向上させ、サービスの質を上げていきます。
- ② ご利用者だけでなくご家族も一緒に支えていく為に、新型コロナウイルスが終息に向かいましたら「家族会」を6ヶ月に1回程度開催し、認知症の悩みなどを共有すると共に、ご家族と職員の信頼関係を築き相談しやすい環境を整えていきます。
- ③ 実績を増やすことを最優先し、科学的介護推進体制加算を取得します。実績が安定すれば職員体制を整えて法人内の理学療法士と連携を図り、生活機能向上連携加算（I）の取得を目指します。

(3) 共通項目

- ① コロナ感染が今後も発生することは考えられるので、感染症対策はこれまで通り実施し、情報には常にアンテナを張るとともに、感染者発生時も素早い対応で感染拡大を防ぎ、安定した運営に努めていきます。
- ② 人材育成では知識だけでなく、職員同士が上司や同僚などに気軽に相談できる風通しの良い環境整備を今後も継続していきます。正職員だけでなく、パートタイム職員に対しても時間を作っていけるよう勤務体制も整えていきます。
- ③ 不要な事務作業の廃止、パソコン使用やリモート会議など、これまで以上にICT化を進め、業務効率化を図ります。

【4】単年度高額支出（予算額）

なし

【5】地域の公益的な取組

- ① 御領サロンへの参画、地域清掃は今後も継続してきます。その他の地域貢献事業（認知症カフェや、御領サロン、元気でまっせ体操、認知症サポーター養成講座、地域交流スペースの活用など）も、できるところから再開し、今後も地域との関りを大切にしていきます。
- ② 医療・介護連携推進事業、大東市ケアマネジャー研究会、大東市地域ケア会議などに参加し、地域の関連機関とのネットワークを構築するとともに、ごりょうの家の各事業所が連携しながら地域の行事などに参加、参画し地域福祉に貢献します。

【6】別表

(1) 防災訓練計画

月	種別	内 容
4	部分訓練	職員と2F利用者を対象とした避難訓練
7	基礎訓練	職員と入所者を対象とした防災機械器具の取扱い方法及び 消化活動の研修
10	総合訓練	消防立会いによる職員と利用者を対象とした通報・消火・ 避難訓練
1	夜間訓練	夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と当直者による職員 への通報訓練、消火訓練、避難訓練

※年2回以上は通報訓練、消火訓練、避難訓練を行う

(2) 行事計画

月	内 容
4	花見ドライブ
6	室内運動会（家人参加型）
7	七夕会
8	夏祭り
9	敬老祝賀会（家人参加型）
12	クリスマス会
2	節分祭
3	ひな祭り
該当月	お誕生会

※ペット療法、演奏会、保育園慰問なども実施していきます。

※空白になっている箇所は昼食レクやおやつレク、集団レクリエーションなど
を実施する予定です。

(3) 研修計画

月	内 容
4	リスクマネジメントについて
5	高齢者虐待防止について
6	食中毒について
7	人権研修・認知症ケアについて
8	身体拘束の排除のために取り組みに関する研修
9	感染症対策の強化
10	感染症対策について
11	認知症の理解
12	笑い療法について
1	認知症介護実践者研修
2	高齢者の緊急時対応の研修
3	業務継続に向けた取り組みの強化

※大東市が行う地域ケア会議に参加する予定

※新人研修は新規採用があった場合、その都度実施

※ケアマネジャー更新研修

介護老人保健施設 すいれん 事業計画

【1】施設方針

- ① コロナ禍でも安心してご利用して頂けるよう感染症の発生及びまん延等に関する取組として、研修及び訓練を実施するなど、引き続き感染防止対策の強化に取り組めます。
- ② 利用満足度が上がるよう職員教育はもちろん事業所ごとのイベントにも力を入れていきます。
- ③ 業務改善や人手不足の解消のため、NAS（施設内ファイル共有システム）をより活用できるよう各種の記録業務や見守り業務に記録関係の電子化を取り入れ、業務の効率化・業務負担の軽減を図り、併せてケアの質の向上に取り組めます。
- ④ 介護老人保健施設や通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所が連携し地域の方々へ一体的なケアを行う事で、継続的な在宅生活の確保し在宅復帰率の向上や新規獲得による稼働向上・安定を行います。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	58.5%	26.9%	12.9%	1.7%
介護老人保健施設	94%	56.6%	29.3%	13.6%	0.6%
通所リハビリテーション	70%	62.0%	17.2%	11.0%	9.8%

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	1069 件	91.5%	7.2%	4.4%	△3.1%
	1人1月	29.7 件				
介護予防	延べ	414 件				
	1人1月	11.5 件				

【3】拠点各事業の計画

(1) 介護老人保健施設

- ① コロナ禍により施設が閉鎖的になってしまった事で地域の方々へ施設のサービスが不透明になっている事からサービスの見える化に力を入れ、ブログや広報誌を通して、地域の方々へ提供するサービス内容を発信していきます。
- ② 施設内外問わず研修に積極的に参加し専門性としての知識の習得・技術の向上に努めサービスの質の向上を図ります。
- ③ 情報の共有がスムーズに行えるよう記録物の電子化に努めると共に重複作業

をなくすなど業務負担の軽減に取り組みます。

- ④ 在宅復帰後も在宅サービスと連携し随時、状態確認を行いながら必要に応じて支援を行い安心して在宅復帰をして頂ける体制作りを行います。
- ⑤ 営業活動を行いながら地域の居宅介護支援事業所と関係性を深め、地域が必要としている老健としての役割を分析し居宅介護支援事業所からの新規獲得を目指します。
- ⑥ ご利用者及びご家族の意思を尊重し、ご利用者にとって最善でかつより良い『看取り』を行えるよう多職種連携して職員教育を実施いたします。

(2) 通所リハビリテーション

- ① 介護やリハビリを必要とされている方により多くのサービス提供が行えるよう努めます。
 - ・身体状況に合わせた運動プログラムを実施し、その効果を見える化したものを利用者様、家族様、担当ケアマネージャーへ伝え、リハビリに対して意欲の向上に繋がるように努めます。
- ② 職員のスキルアップを図る為、研修等を通じサービスの質の見直しを行ない、専門的な知識や技術を身に付ける取り組みを行います。
 - ・定期的な内部研修や外部研修に参加し、各職員の個々のレベルアップや資格の取得を目指します。
 - ・業務内容を定期的に見直し、業務整理や業務改善を行いサービスの質の向上を行います。
- ③ 稼働率の向上を目指し、収益の安定を目指します。
 - ・広報誌やブログを活用し、部署のイベント内容などの広報活動を行っていきます。
 - ・居宅介護支援事業所へ空き情報を定期的に伝え、新規ご利用者の獲得を目指します。
 - ・利用者様や家族様の希望に合わせて、利用時間及び回数の見直しを行い、振替利用や追加利用の提案を行います。
 - ・認知機能向上システムの導入を行い、利用者様、担当ケアマネージャーへ告知を行い稼働率向上に努めます
 - ・すいれんの居宅介護支援事業所、本体施設との連携を強化し、円滑な利用効率に努めます。
- ④ 新型コロナウイルスの感染症対策を引き続き行い、安心してご利用頂ける体制と感染防止に努めます。
 - ・新型コロナウイルスに関する感染予防策を盛り込んだ、集団リハビリの実施、個別のリハビリ等のメニューを検討・実施します。

- ・職員へ感染症対策に関する研修の実施及び、感染症対策を日頃から意識できる体制を維持します。

(3) 居宅介護支援事業所

- ① 鶴見区を拠点に隣接区・市などの関連機関との連携を図り、地域に根付いた事業展開に努めます。
 - ・各地域包括支援センターからの支援困難者の受入れ依頼に積極的に対応します。
 - ・医療機関、法人外の事業所とも日々の業務を通じて、情報を共有する際など感染症対策を講じつつ顔の見える関係づくりに努めます。
- ② 質の高いケアマネジメントが提供できるように努めます。
 - ・各地域包括支援センターが行う事例検討会等に積極的に参加すると共に、事例提出依頼にも積極的に行う事で個々のスキルアップを図ります。
 - ・事業所内でも定期的に会議を開催し、情報・知識の共有を図るなど事業所全体のスキルアップを図ります。
- ③ 併設の介護老人保健施設との連携により、相乗効果によるサービス提供の確保と新規ご利用者の獲得に努めます。
 - ・入所相談から施設退所、在宅復帰までの支援方法を整備する事により、ご利用者・ご家族が安心して施設入所から在宅復帰ができるなど、本体施設や事業所との連携を図り、質のいいサービス提供ができるように図ります。

【4】単年度高額支出（予算額）

なし

【5】地域の公益的な取組

- ① 地域自治体等が行っている活動に参加させていただき、地域の方との交流や随時、介護相談などを受けていきます。
- ② 地域ケア会議などに参加し、地域の関係機関との連携を深め地域支援の取り組み等に協力します。
- ③ 地域の方々に対し区民まつりへの参加や、施設前の掲示板等を通じて情報を発信し「すいれん」を知って頂くよう取り組んでいきます。

【6】別表

① 年間行事計画

(介護老人保険施設)		(通所リハビリテーション)	
月	行事名	月	行事名
4	屋上お花見 誕生会	4	お花見 誕生会
5	端午の節句 誕生会 菖蒲の湯	5	端午の節句 誕生会
6	喫茶【食べ物の企画】 誕生会	6	季節の湯 誕生会
7	七夕会 誕生会	7	七夕祭り 誕生会
8	夏祭り 誕生会	8	夏祭り 誕生会
9	敬老祝賀会 誕生会	9	敬老祝賀会 誕生会
10	室内運動会 秋まつり 誕生会	10	運動会 誕生会
11	喫茶【食べ物の企画】 誕生会	11	季節の湯 誕生会
12	クリスマス会 誕生会 柚子の湯	12	クリスマス会 誕生会
1	元旦祝賀会 誕生会	1	書初め大会 誕生会
2	節分 誕生会	2	節分祭 誕生会
3	桃の節句 誕生会	3	ひな祭り 誕生会

② 年間集団リハ計画 (介護老人保険施設)

月	実施回数	実施内容
4	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
5	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
6	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
7	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
8	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
9	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
10	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
11	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
12	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
1	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
2	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
3	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸

③ 防災訓練 災害時事業継続計画に基づく防災訓練を年2回以上開催します。

月	種別	内容
5	基礎訓練	施設内設備及び避難方法についての研修
8	基礎訓練	水消火器を用いての消化訓練
2	夜間訓練	避難訓練

④ 年間研修計画

(介護老人保険施設)

月	内部研修	月	外部研修
4	感染症研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	4	法人研修
5	感染症研修	5	
6	食中毒研修	6	高齢者虐待研修
7	事故防止に関する研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	7	OJT研修
8	認知症に関する研修	8	スキルアップ研修
9	褥瘡研修	9	リスクマネジメント研修
10	褥瘡研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	10	感染対策セミナー
11	ノロウイルス嘔吐処理研修	11	苦情対策研修
12	ノロウイルス嘔吐処理研修	12	外国人雇用に関する研修
1	危険予測トレーニング研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	1	リスクマネジメント研修
2	高齢者の人権・高齢者虐待研修	2	大老健懇親会
3	顧客満足苦情対応研修	3	

(通所リハビリテーション)

月	内部研修	月	外部研修
4	介護技術向上研修	4	高齢者虐待研修
5	人権高齢者虐待身体拘束研修	5	事故防止研修
6	感染症（食中毒）予防研修	6	認知症サポーター研修
7	認知症基礎研修	7	感染症対策研修
8	事故防止研修	8	接遇研修
9	褥瘡予防研修	9	安全運転講習
10	安全運転研修	10	人権研修
11	感染症予防研修	11	介護技術向上研修
12	事故防止研修	12	救急救命対応研修
1	人権高齢者虐待身体拘束研修	1	認知症予防研修
2	救急救命対応研修	2	接遇研修
3	接遇研修	3	終末期ケア研修

(居宅介護支援事業所)

月	研修内容
適宜	外部内部問わず ・ハラスメント研修 ・業務継続計画研修 ・感染症及びまん延防止研修 ・高齢者虐待の防止研修 ・法令遵守に関わる研修 ・個々のスキルアップに繋がる研修など
適宜	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議
適宜	・ケアマネット連絡会

月	その他
適宜	・大阪府介護支援専門員実務研修 実習受入 ・鶴見区諸口の百歳体操

検討・実施内容

サービス向上会議

- 1) ご利用者満足度アンケートの実施
- 2) 法人スローガンの制定
- 3) 表彰顕彰制度の実施
- 4) 職員アンケートの実施

リスクマネジメント推進会議

- 1) 年2回開催の第三者苦情解決報告会開催実施。
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対応の変化に伴い、家族の面会が増える環境になると予測し、しっかりとご家族の声を受け取とる。その内容と改善取り組みを周知推進し、利用者及び家族への適切な支援に向ける。
- 2) 「新型コロナウイルス感染症」における対応について、令和5年5月上旬より変化が予測される。福祉施設、事業としての感染対策の見直しと再確認を行い周知及び実施を推進。
- 3) 昨年に取り組みが出来なかった、「ヒヤリ・ハット報告書」の活用の促進しての内容・場所・時間等の数値化（見える化）を図り、事故防止を推進。